

eco Action 21

環境経営レポート

期間：2023/4/1 ～ 2024/3/31



発行：2024/06/05

改訂：2024/06/13

白藤工業株式会社

SHIRAFUJI
automobile parts manufacturer
s i n c e 1 9 4 9

もくじ

1 . 組織の概要	・ ・ ・ ・ ・	1
2 . 環境経営組織図	・ ・ ・ ・ ・	2
3 . 環境経営方針	・ ・ ・ ・ ・	3
4 . 環境経営目標	・ ・ ・ ・ ・	4
5 . 環境経営計画	・ ・ ・ ・ ・	5
6 . 計画に対する取組結果とその評価、及び今後の取組	・ ・ ・ ・ ・	6
7 . 環境経営目標に対する実績	・ ・ ・ ・ ・	7
8 . 環境関連法規の遵守状況	・ ・ ・ ・ ・	8
9 . 代表者による全体評価と目標・計画の見直し	・ ・ ・ ・ ・	9

1. 組織の概要と活動の対象範囲

1) 名称

白藤工業株式会社

2) 代表者

代表取締役 伊藤 幹根

3) 所在地

本社工場 〒454-0963 愛知県 名古屋市中川区水里 2丁目127番地

4) 環境管理責任者氏名 及び 連絡先

環境管理責任者 山田 勇樹 連絡先 巻末

環境管理担当者 山田 光浩

URL <http://shirafuji.net>

5) 事業内容

自動車用スイッチ製品の製造及び耕運機用スイッチ製品の製造

6) 事業規模

売上高 44,127 万円

従業員	従業員	31 名
延べ床面積	延べ床面積	676.76 m ²

2024年3月31日時点

7) 事業年度

4月1日 ～ 3月31日

□ 認証・登録の対象組織・活動

1) 登録事業者名：

白藤工業株式会社

2) 対象事業所：

本社工場

3) 活動内容：

自動車用スイッチ製品の製造及び耕運機用スイッチ製品の製造

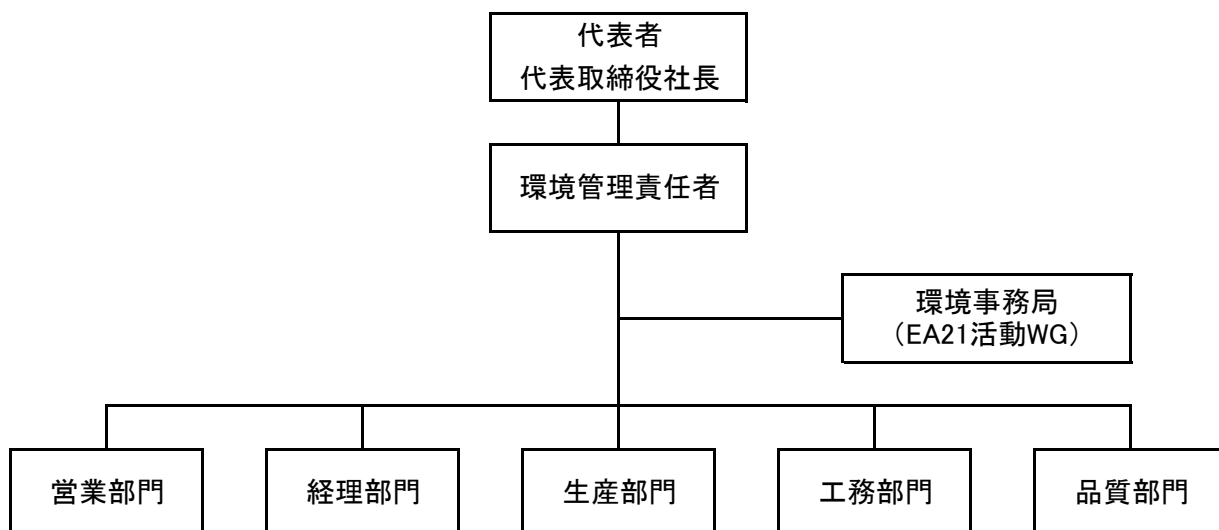
4) 対象事業所の従業員数：

31名

5) 環境レポートの対象期間：

2023年4月1日 ～ 2024年3月31日

2. 環境経営組織図 及び 役割・権限



□ 環境経営の役割・責任・権限表

役割・責任・権限	
代表者 (社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営目標の設定 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知 ・環境管理責任者の任命 ・実施及び管理に必要な経営資源(人員、設備、費用、時間)の準備 ・環境活動計画の承認 ・環境経営レポートの承認 及び公開 ・全体の評価と見直し、指示
環境管理責任者 (代表者)	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等 の取り纏め表を承認 ・環境活動計画の確認 ・環境活動レポートの確認
環境事務局 (EA21活動WG)	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷チェック、及び 環境への取組の自己チェック実施 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等 取り纏め表の作成 及び 最新管理 ・環境関連法規等 に対する遵守評価の実施 ・環境活動計画の作成 ・環境活動レポートの作成 ・環境関連活動の外部コミュニケーション窓口 ・環境関連の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

3. 環境経営方針

環 境 経 営 方 針

《 環境経営理念 》

当社はモノづくりを通じて、持続可能な社会の発展に貢献できる企業を目指します。
日常活動、業務の中で有害有益をとわず、環境に影響を与える要素を洗い出し、
私たちの大切な地球を守っていくという目標に向けた行動計画に基づき、
たゆまぬ努力を怠りません。

《 環境経営方針 》

1. 環境関連法規等の遵守

環境関連法規や当社が約束したことを遵守します。

2. 二酸化炭素排出量の削減

生産の効率化で電気、化石燃料などのエネルギー使用量の削減に取り組み、
環境負荷の抑制に努めます。

3. 廃棄物の削減

生産品質の維持・改善を継続的に行い、廃棄物排出量の削減に努めます。
分別の徹底、リサイクルの推進に努め、廃棄物排出量の削減に努めます。

4. 水使用の削減

節水に努め、水の使用量削減に取り組みます。

5. グリーン購入

事業活動を通じ、環境に配慮したグリーン調達を促進します。

6. 環境管理体制

本方針を全従業員に周知徹底し、環境経営の継続的改善に努めます。

制定日 2022年 9月 1日

改定日 2024年 5月21日

白藤工業株式会社

代表取締役社長

伊藤 幹根

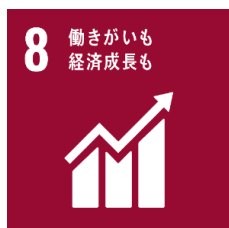
4. 環境経営目標(中長期目標)

				基準年度	目標			
環境目標項目		単位	2020年度	2021年度	2022年度	2022年度	2023年度	2024年度
			4月～3月	4月～3月	9月～11月	4月～3月	4月～3月	4月～3月
			対基準比	削減率	1%	1%	2%	3%
二酸化炭素排出量削減	二酸化炭素排出量	実績数値 単位kg-CO2		40,871	10,116	40,463	40,054	39,645
				193.70	266.20	256.09	267.03	
	電力使用量	実績数値 単位kWh		97,360	24,097	96,386	95,413	94,439
				461.42	634.12	610.04	636.09	
	ガソリン使用量	実績数値 単位リットル		2,489	616	2,464	2,439	2,414
				11.80	16.21	15.59	16.26	
	軽油使用量	実績数値 単位リットル		1,781	441	1,764	1,746	1,728
				0.12	11.60	11.16	11.64	
	天然ガス使用量	実績数値 単位kg	—	—	使用せず			
			—	—				
廃棄物削減	事業系可燃ゴミ排出量	実績数値 単位kg		1,264	313	1,251	1,239	1,226
				0.17	8.23	7.92	8.26	
	事業用不燃ゴミ排出量	実績数値 単位kg		55	54	54	54	53
				3.84	1.43	0.34	0.36	
	産業廃棄物(発生時のみ)	実績数値 単位kg		0	抑制に留意し、数値把握のみとする			
				—				
節水	水使用量	実績数値 単位㎡	—	—	節水に留意し、数値把握のみとする			
			—	—				
グリーン購入推進		—	—	—	グリーン購入を推進する			
			—	—				
生産個数(原単位)		万(個)	—	211	38	158	150	都度更新

※ 指数値＝実績値÷生産個数(原単位)

※ 二酸化炭素排出係数は、エバーグリーン・マーケティング:0.306kg-CO2、中部電力ミライズ:0.379kg-CO2

※ 2022年4月～2023年3月末分を2022年度実績として再編予定



5. 環境経営計画

環境活動項目	取組内容	担当部署
電気使用量の削減	①生産の効率化	全社
	②社内の冷暖房温度管理	全社
	③エアコンフィルターの清掃	全社
	④不要な照明の消灯	全社
	⑤エアー漏れの点検と修理	生産部
ガソリン・軽油 使用量の削減	①エコドライブの推進	全社
廃棄物の削減	①生産品質の維持・改善	全社
	②ゴミ分別回収の徹底	全社
	③リサイクルの推進	全社
	④コピー用紙の削減	全社
水使用量の削減	①節水活動	全社

※

PRTR法で定められる化学物質管理について

顧客要求仕様であり使用量低減は困難ながら、適正な発注で在庫管理に努めます。

(年間取扱量 僅か)

6. 計画に対する取組結果とその評価、及び今後の取組

2023年4月 ～ 2024年3月

電力使用の削減	担当部署	実施結果	評価 及び 今後の取組
① 生産の効率化	全社	△	電力量削減に効果の有る改善が不十分であった。 ライン統合の実施などで、生産効率を上昇させ、電力使用の削減を実施
② 社内の冷暖房温度管理 (室温 夏期28℃ 冬期 20℃)	全社	△	冷暖房の温度管理を実施したが、電力使用量の削減効果が少なかった エアコンON-OFFのタイミングを考慮しての運用を推進する
③ エアコンフィルターの清掃	全社	○	1回/4ヶ月のフィルター清掃 1回/3年の管理者による点検
④ 不要な照明の消灯	全社	○	昼休み 及び 稼働していない時間帯の消灯
⑤ エアー漏れの点検と修理	生産部	○	エアー漏れ発見時は速やかに修理
ガソリン・軽油の使用量	担当部署	結果	評価 及び 今後の取組
① エコドライブの推進	全社	△	2024/1よりトラック運行ルートが追加になり、走行距離増加により使用量増加 2024/4より他社合同便の運行を開始
廃棄物の削減	担当部署	結果	評価 及び 今後の取組
① 生産品質の維持・改善	全社	○	品質改善活動による廃棄物の削減
② ゴミ分別回収の徹底	全社	○	可燃物・不燃物・プラの分別表示
③ リサイクルの推進	全社	△	廃棄物削減のリサイクルの意識付けが不足していた 朝礼などを利用し、リサイクル推進の意識向上をする
④ コピー用紙の削減	全社	○	コピー裏紙利用の推進
水使用量の削減	担当部署	結果	評価 及び 今後の取組
① 節水活動	全社	○	バルブの流量調整、 ステッカー掲示等による啓発

7. 環境経営目標 に対する 実績

※2023年4月-2024年3月

環境目標項目		単位	前年度実績値	目標指数値 (前年度1%減)	今年度実績値	達成率 %	評価
			前年度指数値		今年度指数値		
二酸化炭素排出量削減	二酸化炭素排出量	実績数値 単位kg-CO2	40,871	256	42,499	90%	△
			258.68		283.33		
	電力使用量	実績数値 単位kWh	97,360	610	84,810	108%	○
			616.20		565.40		
	ガソリン使用量	実績数値 単位リットル	2,489	16	2,178	107%	○
			15.75		14.52		
	軽油使用量	実績数値 単位リットル	1,781	11	2,055	81%	×
			11.27		13.70		
	天然ガス使用量	実績数値 単位kg	—	—	—	—	使用なし
			—		—		
廃棄物削減	事業系可燃ゴミ排出量	実績数値 単位kg	1,264	8	1,930	62%	×
			8.00		12.87		
	事業用不燃ゴミ排出量	実績数値 単位kg	55	0	233	22%	×
			0.35		1.55		
	産業廃棄物(発生時のみ)	実績数値 単位㎡	0	-	27.5	-	△
			0.00		0.18		
節水	水使用量	実績数値 単位㎡	564	4	546	97%	△
			3.57		3.64		
管理	化学物質の維持管理	取扱量僅かで発注実績なし (小ロット発注で適切に維持管理出来ている)					
生産個数(原単位)		万(個)	158		150		

- ※ 指数値＝実績値÷原単位(生産個数)
- ※ 二酸化炭素排出係数は、エバーグリーン・マーケティング:0.306kg-CO2、中部電力ミライズ:0.379kg-CO2
- ※ 達成率＝前年指数値×0.99(%)÷今期指数値
- ※ 評価は達成率が100%以上で○、99%～90%で△、90%以下の場合は×
- ※ 期間中に品質に関する苦情等は ございませんでした。
- 客先ラインクレーム 39ヶ月 ゼロ継続中(2024年3月末時点)

【実績に対する評価】

二酸化炭素排出量	・下記軽油使用量が増加した事により、全体の二酸化炭素排出量が増加した ⇒下記に記載した様に、2024年4月より専用トラックを廃止し、共同便を使用する事で、軽油使用量を削減し、二酸化炭素排出量も減少予定
軽油使用量	・2024年1月より、トラックルートが追加され輸送距離が一時的に増加した ⇒2024年4月より、他社との共同便を運行しており、使用量は大幅に減少予定
事業系可燃ゴミ排出量 事業系不燃ゴミ排出量 産業廃棄物(発生時のみ)	・工場内の生産フロアの効率化を目的として、工場内すべてに対し、整理・整頓を実施した事により、多くの不要品が確認出来、その物を可燃・不燃ゴミ、産業廃棄物に分別し、処分した事により、一時的に廃棄物が多く発生した ⇒今年以降は、都度、不要品の排出・廃棄を実施し、リサイクル可能・不可能の判断も的確に実施する
水使用量	・節水活動の意識不足により、昨年度よりは減少したが、目標を達成する事が出来なかった ⇒全体朝礼での啓蒙活動やバルブの流量調整、表示貼付け活動を実施する

8. 環境関連法規の遵守状況

環境関連法規	条項	該当する要求事項	遵守状況	評価
廃棄物の処理 及び清掃に関する法	3条	破棄物の排出を抑制し、適正処理を実施する	廃棄物の抑制と分別回収、及び分別排出処理を実施	○
	12条	産業廃棄物管理票(マニフェスト)の管理、処分実績の報告書提出	マニフェスト保管状況の確認 6/30までに名古屋市長へ報告 (産業廃棄物実績の年)	○
	12条	委託契約書の締結及び保存	委託契約書締結、保存 及び優良認定業者許可証と有効期限 の確認	○
騒音規制法	5条、6条	届出等の提出、苦情への対応	名古屋市環境課へ届出	○
振動規制法	5条、6条	届出等の提出、苦情への対応	名古屋市環境課へ届出	○
市民の健康と安全を確保する 環境の保全に関する条例	7条2項	アイドリングストップの指導・周知	自動車を運転する者へ、アイドリングストック実施を告知	○
自動車Nox、PM排出抑制	4条	窒素酸化物(NOx)、浮遊粒子状物質(PM)排出抑制	適合車を運用	○
フロン排出抑制法	16条	業務用エアコンの定期点検の実施、稼働状況の確認	1回/3ヶ月の定期点検を実施	○
消防法	8条	消防用設備設置届出	消防書へ届出	○
家電リサイクル法	6条	指定家電の回収処理	期間中の処理なし	-
小型家電リサイクル法	7条	指定家電の回収処理	期間中の処理なし	-
PCリサイクル法 (資源有効利用促進法)	5条	PCの回収処理	期間中の処理なし	-
自動車リサイクル法	5条	自動車の回収処理	期間中の処理なし	-
グリーン購入法	5条	物品等の購入において出来る限り環境物品等を選択する	文具中心に環境物品を選択 (コピー用紙 等)	-

- ・ 当社に適応される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反、訴訟等は ございませんでした。
- ・ 関係当局からの違反等の指摘は過去3年間ございませんでした。
- ・ 期間内に周辺住民の皆様からの苦情・通報等はありませんでした。
- ・ 期間中に事故、及び緊急事態の発生は ございませんでした。
- ・ 2023/12/04避難訓練を実施しました。(右写真)
- ・ 緊急事態についての手順改訂：不要



9. 代表者による全体評価と目標・計画の見直し

昨年度は中部電力ミライズによるオフサイトPPAサービスに参画し、愛知県内の物流倉庫の広大な屋根スペースに設置された太陽光発電所に由来する再生可能エネルギーを活用して脱炭素化を進めました。

環境関連法規について、改めて確認を行い 全て満足できて大変良い結果となりました。生産現場では、節電・節水のステッカーに加え、エコドライブ10、3Rの啓蒙も継続して行ってきました。

一方で、二酸化炭素排出量について2024年1月より自社便の運搬ルートが追加された関係で一時的に増大する結果となってしまいました。この点については、2024年4月より共同便の運用を開始しており、軽油使用量を大幅低減できる見込みとなっています。

また、事業系ゴミおよび廃棄物の排出量についても2023年度は未達となってしまいました。これは生産フロアの効率化を目的とした整理・整頓をトップ主導で行った結果です。社内の整理は既に一巡しております。今後は不要品の排出に関し、リサイクル可能・不可能の判断をスピード感をもって的確に実施してまいります。

今後も省エネ活動、生産品質の維持・向上を主体とした活動を更に強化し、環境経営体制のもと全社員が環境に対する意識を高めて、一丸となって環境活動に取り組んでまいります。

2024年5月31日 代表 伊藤幹根

【環境窓口】

白藤工業(株) 代表 052-302-1131

